

明治神宮崇敬会会員実践綱領

〈前文〉

わたくし めいじじんぐうすうけいかいかいじん 私 ごさいじん たち ごせいとく 明治神宮崇敬会会員は、御祭神の御聖徳を仰いで
すうけい まこと 崇敬の誠 たがい をささげ、互 せいかつ にその生活をつうじて会員の本分を
つく もつ 尽くし、以て こうだい 広大な大御心 おおみこころ に副 そ いまするよう、ここに かいいん 会員の綱領を
定め、さだ 諸共 もろとも にあい携 たずさ えてその実践 じっせん に努 つと めるものとする。

〈主文〉

ひとつ かみ 一、神 うやま を敬 そせん い祖先 あが を崇 あか め、明 きよ き清 まこと き誠 まこと をもって、

にちにち 日日の生活 せいかつ に励 はげ むこと。

ひとつ こうしつ 一、皇室 とうと を尊 こっか び国家 あい を愛 ただ し、正 なほ しき直 こころ き心 こころ をもって、

よ 世 ひと のため つ 人のために つ 尽くすこと。

ひとつ しぜん 一、自然 した に親 ひとびと しみ人 むつ 人と睦 むつ び、
しかいどうほう 四海 むね 同胞 むね を旨 むね として、

せかい 世界の へいわきようえい 平和 いの 共 いの 栄 いの を祈 いの ること。